

〔特徴〕

建学の精神及びアドミッションポリシーを理解したうえで、本学への入学に強い意欲を有する者を、多面的・総合的に評価することによって、目的意識や熱意・意欲を重視した人物重視型専願入試制度である。

【1. 募集人員】 20人（6年制18人・4年制2人）

【2. 出願資格】

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者または令和7年3月31日までに卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者または令和7年3月31日までに修了見込みの者。
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または令和7年3月31日までに以下に該当する見込みの者。
 - ① 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者または令和7年3月31日までに合格見込みの者。（旧大学入学資格検定の合格者を含む。）
 - ② 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
 - ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の該当課程を修了した者。
 - ④ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定する者を文部科学大臣が定める日以降に修了した者。
 - ⑤ 文部科学大臣が指定した者。
- (4) 本学の教育理念・教育方針および教育内容を十分に理解し、自己の目標達成のための勉学に強い意欲を持ち、合格した場合、必ず入学する意志のある者。
 - ※ 帰国子女・留学生の方は総合型選抜（AI学習型/AO）・大学入学共通テスト利用選抜・一般選抜等を通じて受験してください。
 - ※ 編入学試験については、教務課 TEL:045-859-1320（直通）へお問合わせください。

【3. 出願期間】

第1回	令和6年9月 1日(日)～令和6年 9月16日(月・祝) 締切日必着
第2回	令和6年9月 1日(日)～令和6年10月11日(金) 締切日必着
第3回	令和7年2月19日(水)～令和7年 3月14日(金) 締切日必着

6年制学科と4年制学科を併願して出願する場合は、2つの受験番号を付与するため、6年制と4年制のそれぞれで出願してください。なお検定料は同一入学試験のため、受験1回につき1件でかまいません。

【4. 検定料】

■初回検定料：30,000円

【複数回受験割引】

本学の入学試験を複数回受験する場合、割引が適用されます。1回目の出願では30,000円、2回目以降は、どの入試区分でも15,000円となります。

*一旦振込まれた検定料はいかなる理由があっても返金できませんのでご注意ください。

【5. 出願書類】

①調査書	<p>○文部科学省所定の様式により作成し厳封したもの ※高等学校生徒指導要録の保存期間の経過または廃校等の諸事情により調査書が得られない場合には「卒業証明書」を提出してください。</p> <p>※出願資格 (3) ①に該当する方 合格（見込）成績証明書を提出してください。</p> <p>○作成後開封無効 ※複数回受験を希望される方の調査書は一通で結構です。 （先に提出されたものを再使用します。）</p>
②自己紹介書	<p>○本学所定の用紙に記入（分かる範囲内で記入すること。） ※満23歳以上で、かつ社会人として1年以上の職務経験を有している方は、自己紹介書の代わりに経歴書を提出してください。</p>
③自己アピール文	<p>○本学のアドミッション・ポリシーや本学の教育の内容・教育システム、自分が横浜薬科大学にふさわしい人間である適性や長所などについて、よく調べよく考えて800字以内で記入すること。</p>

※出願書類②、③はWeb出願サイトからダウンロードできます。

※書類に記載された個人情報、選考結果の通知、入学に関する案内および入学後の学務のみに使用いたします。

※第1回、第2回試験を共に受験される方の自己紹介書、自己アピール文はそれぞれ1通でかまいません。

※提出された書類はいかなる理由があっても返却いたしません。

【6. 選考方法】

書類審査と「人物評価及び学力検査」で合格者を決定します。

(1) 書類審査：提出された書類をもとに選考を行います。

●調査書 ●自己紹介書 ●自己アピール文

(2) 「人物評価及び学力検査」：

「基礎学力検査（理科「化学基礎・化学」）」・「個別面接試験」を実施します。

① 医療人としてふさわしい素養が備わっているかどうかを見るための“基礎学力検査”を行います。検査はマークシート方式で、試験時間は60分間、出題範囲は理科「化学基礎・化学」（※有機化合物・高分子化合物を除く）の基本的な内容となります。

② 個別面接試験は、受験者の勉学の意欲を確かめ、個性や隠れた能力を発見するのが目的です。面接員との対話の中で、問題点に対する取り組み、考え方、解決力、創造性などを見ます。

【7. 試験日】

第1回	令和6年 9月21日(土)
第2回	令和6年 10月19日(土)
第3回	令和7年 3月18日(火)

【8. 試験会場】

試験場	試験場名	住所	電話番号
横浜	横浜薬科大学	横浜市戸塚区俣野町601	045-854-2345

【9. 実施要領】

(1) 時間割

9:30	—————	受験生集合
9:40]—————	受験上の注意
9:50		
10:00]—————	「基礎学力検査(理科「化学基礎・化学」)」(マークシート方式、60分) ※1
11:00		
11:10]—————	「個別面接試験」(20分程度) ※2
12:10		

※ 状況により※1と※2の開始時間を入れ替えて実施する場合があります。

(2) 受験上の注意

- ・9時40分から試験全般について説明するので、9時30分までに集合すること。
(万が一、遅れる場合は入試広報課に連絡してから、試験場へ来てください)
- ・試験場に入場したら、机に表示してある受験番号に従って着席すること。
- ・試験場内では、監督者の指示に従い、勝手に答案の作成を始めてはならない。
- ・受験票は、受験中、常に机の上に置くこと。机には、筆記用具、消しゴム、時計以外のものは置かないこと。その他の携行品は机の中に入れるか、かばんの中に入れておくこと。
- ・携帯電話、スマートフォン類はアラーム、時報、目覚まし音の設定を解除し、電源を切ってかばんの中に入れておくこと。
- ・試験問題および解答用紙は、絶対に持ち出してはならない。

(3) 試験場の下見

- ・本学試験場の校舎内および地方会場の試験場内には入れませんので、建物等の場所を確認する程度としてください。

【10. 合格発表】

選考結果(合否)はWebで発表します。合格発表日の午前9時より確認できます。合格者のみ「入学手続書類」を本人(保護者宛)へ後日郵送します。電話や電子メールなどの問合せには一切応じません。

※受験番号と生年月日でログインしてください。

第1回	令和6年11月 1日(金)
第2回	
第3回	令和7年 3月22日(土)

【11. 入学手続】

(1) 合格通知受領後、所定の期日までに入学手続を行ってください。

〔書類の提出〕

- ① 誓約書(正副2通提出)
- ② 住民票(本人および保護者の名前と住所が記載されているもの)
外国籍の人は外国人登録証明書
- ③ 学納金の振込

授業料などの学納金(一学年初回分)を、指定の「振込用紙」を使用して振込んでください。

10万円を超える授業料などの現金振込の際には本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)をご持参の上、金融機関の窓口をご利用ください。

(2) 上記手続終了後、入学許可書および学納金の領収書を送付します。

(3) 入学手続締切日：下記の指定された期日までに入学手続きを済ませてください。

※ 書類の提出が遅れる場合には、前もって連絡してください。

【12. 入学手続締切日】

第1回	令和6年11月11日(月) 消印有効
第2回	
第3回	令和7年3月28日(金) 消印有効

総合型選抜は専願制ですので、辞退することはできません。合格した場合は入学手続きを速やかにとるようにしてください。なお、入学手続完了後に辞退を希望された場合は、すべての学納金は返還いたしません。

【13. 入学手続者の特待生チャレンジ選抜受験について】

入学手続きを完了している方も入学の権利を保持しながら受験することができます。

「特待生」に採用されなかった場合でも、当初に合格した入学試験の結果には影響しませんので安心して受験してください。

【14. 入学前教育について】

令和6年12月31日までに入学手続きを完了した方には基礎学力維持のため入学前教育を提供(無料)しています。入学前教育は、オンライン動画授業とオンライン演習の二本立て(予定)です。主な内容は、薬学部で必要となる高校授業の復習です。教材は令和7年1月中旬から順次発送いたします。

入学前教育の問い合わせは、横浜薬科大学教務課 045-859-1320(直通)までお願いします。

【15. 受験に関する問合せ先】

横浜薬科大学 入試広報課



0120-76-8089

直通 045-854-2345